

あかるいまち 21

No.1580 2023年3月31日
組合員活動推進課 082-532-1264

	3月	2022年度
組合員ふやし	113人	1,359人
出資金ふやし	937万円	12,482万円
純増	△425万円	△631万円

「介護が必要になったらどうする？」己斐支部で学習会開催

3月15日、己斐支部あんしん講座開催。己斐西町集会所で33名が参加。

「介護が必要になったらどうする？」をテーマに介護保険制度の基本的な学習と生協10の基本ケアについて広島中央保健生協居宅介護事業所の松井拓也さんの話を聞きました。健康保険証と違って介護保険証を持っていてもそれだけでは介護制度は利用できません！から始まり、受けるには地域包括支援センターに相談に行くことを紹介され、利用するまでの手続きを聞きました。介護保険制度は万全ではなく改定ごとに費用や利用内容など制限が厳しくなっており、介護認定が決まればケアマネとよく相談をすることと話されました。また、生協10の基本ケアの取組について日常生活の中で実践されているが、「床に足をつけて椅子に座る」の例で、「車椅子は乗り物で、食事は車椅子から離れて椅子に座って食事する」と話され、人間の尊厳を守り生活の質を豊かにするという話に納得でした。

参加者からは、「知らなかったことが沢山」「手続きの流れがよく分かった」「講師の人が堅苦しくなく気軽に聞けた」「初めて聞いた」「地域包括支援センターの場所を確認しておこう」などの声があり、あんしんできた講座となりました。最後にみんなで一息ついて食べたぜんざいが美味しかったです。



記・己斐支部 濱口都子

いざというときに困らない救急対応編 ～西区西支部～

3月24日（金）草津東集会所でまなび班を開催しました。今回は広島西消防署の藤谷智さんを講師に14名の参加者で救急対応について学びました。

応急処置や救急要請についての注意点などをお話していただき、その後は胸骨圧迫の方法と

AEDの使用方法について説明をしていただきました。AEDには小児用と大人用があること、小学生以上は大人用を使用することなど、初めて知ることもあり、大変勉強になりました。

「いざというときに動けるかどうか不安」「周りの人に指示ならできるかも」といった感想もありましたが、定期的に学習することで自信をつけ、迷わず行動できるようになればと思いました。

